

# アパレル用CAD及び自動横編み機の導入による 高付加価値ニットウェア生産システムの構築

株式会社 ホワイトボックス

設備投資

## 事業者の概要

|      |                   |             |                          |
|------|-------------------|-------------|--------------------------|
| 企業名  | 株式会社 ホワイトボックス     | 業種          | 繊維工業                     |
| 代表者名 | 代表取締役 村田 三郎       | T E L       | 096-320-0588             |
| 設立   | 平成元年10月           | F A X       | 096-358-8836             |
| 住所   | 熊本県熊本市南区富合町釈迦堂714 | U R L       | -                        |
| 資本金  | 1000万円            | E - m a i l | whitebox.co.jp@nifty.com |
| 従業員数 | 18人               | 担当者名        | 村田 三郎                    |

## 事業内容・経緯

当社はクッション、カーテン、シーツなどインテリア布製品を製造している。インテリア業界は、海外からの安価な輸入製品の増加や、県外資本の大型インテリア店の県内進出などの影響で競争が激化。このような中、当社が得意としていたリネンを素材としたスカート、チュニック、エプロンなどの服飾を4年前から製造開始し、インテリアよりもターゲットが明確化しているアパレル製品の売り上げは好調に推移。これまで製造してきた夏物縫製品や冬物縫製品だけでなく、商品拡充を図るには冬物のニット製品が必須アイテムだった。そこで、海外・国内の高級ブランドなどのニット製品で多く使われているホールガーメントの自動横編み機とデザインシステムを導入。ホールガーメントとは無縫製ニットウェアのこと。従来のニット製品は成型編みしたパーツを縫い合わせるのに対し、同機械は編み機から立体的な完成品が1着ごとに直接編成される。ホールガーメントは生産性が低く、機械導入のコストなどリスクが高い新事業であったため、ものづくり補助金を活用した。

## 事業の成果

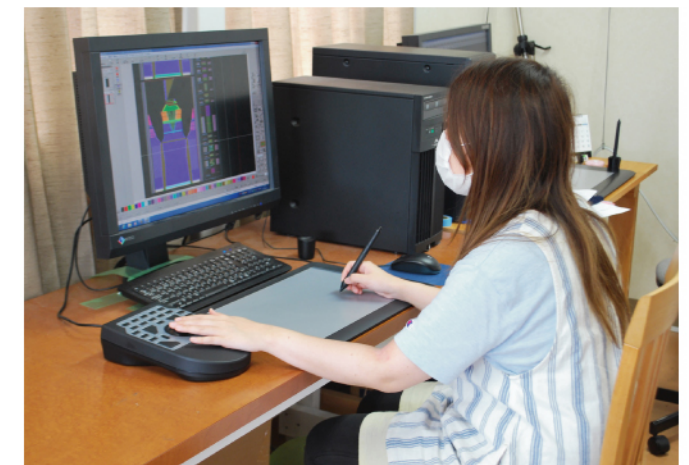
編成データの作成を行うデザインシステムと自動横編み機を導入した。編み機はセーター、カーディガン、スカートなどを製造できる糸が細いハイゲージの製造機で、導入直後は使用する糸によってデザインシステムのデータとは違うサイズのニットが仕上がる製品もあったが、デザインシステムのサイズ変更や計画通りのサイズに編成できるよう改良を重ねた結果、課題を克服。ウールやシルクなどさまざまな素材、さまざまなハイゲージの糸を使用し、多品種のデザインのホールガーメント製ニットウェアの編成が可能になった。ホールガーメントのニットウェアは、ニットパーツを縫い合わせた低価格の縫製ニットウェアと比較し、伸縮性、ドレープ性、着心地の面でも優れ、市場との差別化を図ることができた。また、国内のホールガーメント製ニットウェアの市場価格は平均1万円前後だが、当社は4割程度低い価格で提供を可能にしている。

## 今後の展望

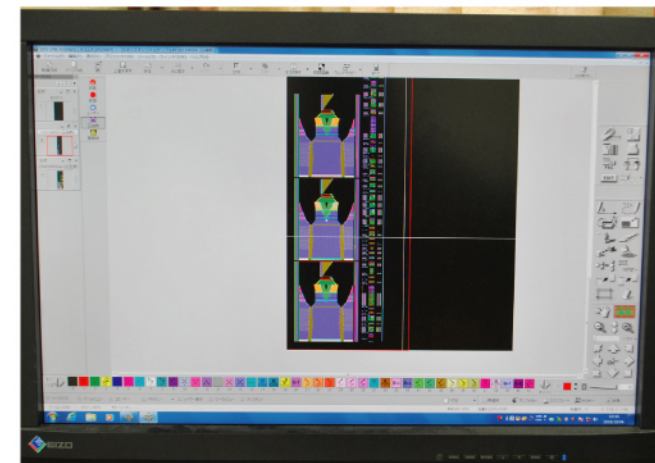
ニットウェア製品は伸縮性、軽快性など着心地の評価が高い点に加え、当社プランナー考案のオリジナル企画で無縫製のホールガーメントニットウェア製品の製造が可能になり、市場との差別化が可能で、さらなる売上の向上を図っていききたい。また、ものづくり補助金で導入したハイゲージの横編み機のほかに、新たに設備投資としてミドルゲージとローゲージのホールガーメント横編み機を合計3台購入。編み機の導入によって、靴下や手袋などの小物も製造可能になり、冬物衣類のニット製品のラインナップをさらに拡充することができた。ホールガーメントのニット製品は、関連会社が運営する当社のアンテナショップで販売しながら、消費者の声を取り入れ、感度が高く着心地の良い高付加価値ニットウェアを短納期で展開することで、売り上げ拡大を目指す。



▲今回導入したホールガーメント自動横編み機。編み機の中央部に見える茶色の製品が、立体的に編成されたニットウェア



▲ホールガーメント仕様のニットウェアを製造できるアパレル用CADを導入



▲前身ごろ、後ろ身ごろに柄などをあらわした展開図



▲完成したホールガーメントのニットウェア